(1)第 76 号 令和6年2月1日

事業団びたち

第 76 믕

☆萬春園(特別養護老人ホーム 短期入所 居宅 介護支援事業)

☆かねはた(養護老人ホーム 短期入所 デイ サービス 生きがいづくり支援事業)

☆はまぎく荘(老人福祉センター デイサービス)

☆大みかけやき荘(障害者支援施設 短期入所 日中一時支援 共同生活援助)

発 社会福祉法人 日立市社会福祉事業団 行

〒316 - 0036 日立市鮎川町3丁目2番10号

電話 0294(33)7271 FAX 0294(36)2065 URL: http://www.hitachi-jigyoudan.com/











賀詞交歓会 (大みかけやき荘)

様の安全と安心を最優先に、

感染症対策に取り

引き続き、

取り組用

ま

 $\overset{\circ}{4}$

新型コロナウイルスの脅威がなくなったわけではあり

まちにはにぎわいが戻りつつあります

にぎわいが戻りつつありますが、感染防止対策の大きな転換点はナウイルスの感染症法上の位

高齢者施設等においては、

置付けが5類へと移行

改めて被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、5月には新型コロナウイルスの感染症法上の

市内各所で甚大な被害が発生し、

13号に伴う記

深い爪痕を残しまして記録的な豪雨によっ

な豪雨によっ

えのこととお喜び申し上げます。

上げます。

皆様におかれましては、

新春を健やかに

お

和 6

年頭に当たり、

でま

いります。

を進めてまいりました新しい萬春園が、 まっております。 年問題」が待ち受けるなど、 験や実績を礎に、これからの時代にふさわし 園をはじめ各施設において、これまで積み上げてきた いたしました。本事業団としましては、この新し 2025年問題」が目 このような中、 先には、団塊ジュニア世代が65歳に達する「20 護サービス事業所等へ寄せられる期待はますます 高 ビス等の提供に努め、 記齢化が 古立 進 市 前に迫っております。 が高齢者福祉の 寸 本格的な超高齢社会を迎え 塊 地域福祉の 世 代 が 75 年6月に開 歳 増進に資す い持続可 そしてそ を迎える

援とご指導を賜りますようお願い申し

本年が皆様にとりまして、

る施設運営を図ってまいります。

皆様には、



小 Ш

樹

日立市社会福祉事業団

新施設で初めての総合防災訓練

長 補 佐 園 大 金 洋 之

110名が参加しました。 施しました。当日は 練を、 施設に移 多賀消防署の立ち合いで実に移転後初めてとなる総合防 当日は利用者と職員総勢

無事避難が完了となりました。その後 新施設で初の避難訓練に戸惑う事な ごとに避難を開始します。 が声を掛け合い、利用者が居住エリア 得しました。 消火訓練を実施し、 非常ベル発報後、緊張感 真剣に訓練へ参加してくださり、 消防署員の指導の下、 初期消火方法を習 利用者は、 職員による \mathcal{O} 中で職員

り扱い等の不安もありました。初の総経路の延長や、新しい防災機器類の取いては、居住エリアの拡大に伴う避難しました。一方で、火災発生時等にお う設計され、 拭する重要な訓練となりました。 合防災訓練は、それらの不安要素を払 は現代の高品質なケアを提供できるよ 員にとっても大きな変化でした。施設 新しい施設への移転は、 利用者の生活環境が向 利用者と職

利用者が安心できる施設運営を 継続的に様々な訓練を実施

社会福:

塙 寬

た「社会福祉施設新任職員研修」に参 城県社会福祉協議会主催 で行 わ れ

て、原点に戻り、考え直すことができとは何か」「福祉とは何か」につい 講義やグループワークを通し

わっていく利用者理解・包容し、 ことにより、はじめて利用者の心に寄わっていく利用者のニーズを理解する ました。 きるのだと、 り添ったサー 現代社会の 改めて感じることができ ビスを提供することがで

れていると感じました。 的に現場に活かしていくことが求めらと、そこから得た新たな気づきを積極 広げ、柔軟な考え方に転換していくこ となく、 ためには、 多くの視点を持ち、 視野を

新人という立場から、大きな 問 現 題に 場

祉施設新任者研修

介萬 護職員 子

加しました。 「介護

特徴である「多様 時代の流れと共に変徴である「多様性」を

んめには、固定観念にとらわれるこ多様性や利用者のニーズを理解する

チームで動くことを意識しながら職務 でのコミュニケーションを大切にし、 の力には限りがあるからこそ、 できることから丁寧に積み重ね、一人 対応することは難しくても、焦らずに

親亡き後対策につい 意後見を活用した 7

太田代 裕 樹

を知ることができました。 求められている成年後見人制度の現状 おり、制度運用について改善するよう連から人権侵害の疑いがあるとされて するケースもあるとのことでした。国勝手に売られてしまうなど制度を悪用 ても通帳などの開示がされず、資産を 成年後見人がつくことで、子供であ るかが大きなポイントです。か、遺産相続でのトラブルを 親として何をすれば子へ財産を残せる 産分与について講義を受けまし 遺産相続でのトラブルを回避でき 害のある子を持つ親の遺 逆に親に 産相 0

りますが、当施設の高齢化や重度化が す。制度上、やむを得ない部分ではあ療同意が難しい点が課題としてありま 任せできる一方で、が、財産管理や契約な を利用している方がいらっしゃい いくかが大切です。 利用している方がいらっしゃいます当施設の利用者にも成年後見人制度 こできる一方で、病院などでの医財産管理や契約などを安心してお その点をどのように解決して

感じました。 と話し合っていかなければならないと るよう、自己決定を第一に、ご家族等 利用者が、その方らしい生活 が送 ħ

体拘束研修

生活支援員 大みかけやき荘 澤 大 志

のロックがあります。道具などを使用介護現場における身体拘束として3つ する研修会を施設内で開催しました。 グループに分かれて身体拘束に関

> しまうスピーチロックがあります。 の言葉かけで不必要に行動を制限して を制限するドラッグロック、 して身体の動 、薬の過剰投与することで行動 制限するフィジカ 利用者へ

今回は、スピー

チロックに焦点を

くあり、無意識に利用者に発してしま 支援中の会話で発してしまう言葉が多 ないで」「~していて」など、日頃の クに当たる言葉には、例として「~し てた研修を行いました。スピーチロッ に気付きました。

用者とのコミュニケーションで適切な今回の研修会の学びから、日頃の利 ているのかを理解していただける声かすること、利用者になぜ声をかけられ行動を提案し、利用者に選択肢を提供 と思いました。 けを心掛ける必要があると感じました。 葉を言い換える工夫や、 言葉かけを意識して関わっていきた そのため、 適切な声かけとして、 代わりとなる

通救命講習」 に参 加して

護職に 員荘 根 本 幸 江

介は

に参加しました。 導者をお招きした普通 数命 講 習会

れなかったりと悪戦苦闘していましたかったり、胸骨圧迫のタイミングがといたため、気道の確保が上手くできな ました。前回の講習から期間が空いて してAEDの使い方を繰り返し行い 気道の確保、 意識の確認から始まり、 DVDを観て、 人工呼吸、 胸骨圧 その後 呼吸の有無、 迫、そ と実際に

と痛感しました。とは神経を使うと共に体力勝負であるとは神経を使うと共に体力勝負であるした。それと同時に救命処置を行うこは学んだ成果を発揮することができまが、指導員の教えもあり実技指導の際が、指導員の教えもあり実技指導の際

私達の仕事は、いつ救命処置を必要私達の仕事は、いつ救命処置を必要お達の仕事は、いつ救命処置を必要おす。おす。おびためにも職員間で定期的に救め。そのためにも職員間で定期的に救命処置について話し合うことも大切だめ。そのためにも職員間で定期的に救め。そのためにも職員間で定期的に救め。そのためにも職員間で定期的に救め。

ぐ第一歩になっていくことを学びました。持って声をかけることが大切な命を繋力は小さいかもしれませんが、勇気を今回の講習を受け、私達一人ひとりの

「伝わる」でつながる広報紙講座

生活相談員 松本健吾

表域県社会福祉協議会主催の広報紙 大城県社会福祉協議会主催の広報紙 大城県社会福祉協議会主催の広報紙 できました。 「伝えて終わり」の一方向になりがち い方や伝わるための言葉選び等々、 の使い方や伝わるための言葉選び等々、 の使い方や伝わるための言葉選び等々、 がちいたの使い方や伝わるための言葉選び等々、 がちいたのがりやすく間くことより がちいたの広報点か をえることで分かりやすく間くことが できました。

で情報を手に入れることができない高高齢者は見る機会が少ないという問題があります。それに比べて広報紙は幅があります。それに比べて広報紙は幅があります。それに比べて広報紙は幅があります。それに比べて広報紙は幅

とあわせ、斬新な発想をもって幅広い世代であるため、今回の研修での学びの重要性を再認識することができました。の重要性を再認識することができました。繋がる役割があることで、将来の求人へと繋がる役割があることで、将来の求人へと齢者などへも結果的に情報が伝わると齢者などへも結果的に情報が伝わると

アオムツについて学ぶ~ 深根固 柢

世代へと発信ができる人材を目指

いと思います。

介護職員宇佐美 圭 祐かねはた短期入所施設

何いました。 のないでは、職員の介護スキルの向当施設では、職員の介護スキルの向 のないでは、職員の介護スキルの向 当施設では、職員の介護スキルの向

普段、施設で使用している紙オムツ普段、施設で使用している紙オムツ

他にもオムツの当て方や、サイズ、他にもオムツの当て方や、サイズ、他にもオムツの当て方や、サイズ、他にもオムツの当て方や、サイズ、他にもオムツの当て方や、サイズ、他にもオムツの当て方や、サイズ、

と設施設

いただきます~お腹も心も満たされて~

たします。いしていただいている厨房のご紹介をかねはたで毎日美味しいお食事を提

るまで や脂 なら す。 折衷の料理に腕を振るい、 当 5で幅広く対応していただい!質などの制限食、個人の嗜! ず、 朝食から夕食まで、施設の給食業務は委 広く対応してい 刻み食やミキサー 調 託 普 理師 l 食、 通 7 好に 食の がお て お 塩 1 ま至分み洋 ま

用者様からの「美味しかったよ」「おたちまで嬉しくなります。そして、利みを浮かべ、その嬉しそうな表情に私ご自身が希望したお料理が並ぶと、笑 生日 になると厨 かわ 込ん ていただき、 誕 で提供 り」などの言葉が、 に 生 カン 日 食べたいお料理をリクエスト 希望したお料理が並ぶと、供しています。利用者様は 希 ŧ 房スタッフも 望 誕生日当日 食」です。 利 用 者様に も話していま 何よりも聞 文字通 の献立に組み 好 様は、 な り 励み \mathcal{O} ま L 誕は

あり りスイー り上げていただいています。 ほ がとうございます。 しくて楽しい、 寿 かにも「 ただきます。 司」など、 ツ」「手作りピザ」に 焼き立てパン」 様々なイベントで盛 心温まるお食事を それでは今日 Þ ** \ 、「手作 「実演 つも



実演握り寿司



納涼祭

萬

食欲の秋・ テイクアウト食事会

ともに「もうお腹いっぱい」「満足した」と大絶 子がみられましたが、 だけるよう、 「うまいよ」「これ食べたかったんだよ」の 「美味しそう」「あなたのも良いわね」と会話も 楽しく選びました。 数多くのメニューから、 ました。選んだ食事が配膳されるとなられましたが、選んだ食事が配膳されるとはすると、普段と違う雰囲気に落ち着かない様々しく選びました。会場の地域交流スペースへ 月 22 日 • 和やかな食事会となりました。 テイクアウト食事会を実施しました。 日 30 利用者様に食欲の秋を体 利用者様 が談笑しなが 食事中も 声と

な行事を企画していきたいと思います。 できました。これからも、 宅配や職員が店舗で受け より多くの利用者様が参加することが 季節感を味わえるよう ŋ 施 設内で提供 (高木)



のが施外、設 内にてテイクアウト 度は数年ぶりに施設の外へ出て、 ナウイ で実施した食事会でした ルス感染症対策のため

設内の行事でも場所や食器、雰囲気が変わると私が付き添ったグループで印象的だったのが、

見せ、自らお皿を持ち美味が、今回の外食会でも、食が、今回の外食会でも、食が、今回の外食会でも、食が、今回の外食会でも、食が、今回の外食会でも、食いなくなってしまう方 しそうに召し上がっていた見せ、自らお皿を持ち美味 になりました。 驚き、とても嬉し た支援員も利用者の皆様もことです。私を含め同席し V 、気持ち

よう努 者いナし り 制 しながら少しずつでもコロりましたが、感染症対策を制限のある生活が続いてお けるように、 コロナ禍により、 皆様の笑顔を増やせるるように、また、利用以前の生活に近付けて きたいと思 がいてお

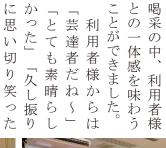
はまぎく荘デイサービス

お店で



きたいと思います。 後も「はまぎく歌劇 が増えるように今 少しでも感動や笑顔 とができました。 も達成感を感じるこ をいただき歌劇団員 日常生活の中で、 共々頑張ってい

ショー 披露しまして、 た。さらに踊りやドジョウすくい、 員による「はまぎく歌劇団」 9 月 18 日 .例のはまぎくご長寿ランキングから始まり、 などの華麗で多彩なパフォー から22日にかけて敬老会を行い で昭和の歌を披露いたしま から沢山の芸能人 スなども マジック











水戸ホーリーホックとの交流事業

ホックと交流会を行いました。 月 毎週水曜日に、サッカー」2の水戸 ホ

を聞く機会もありまカーについて学び、 うという目的で始まった事業です。 交流会では、普段は目にすることの サポーターとしてクラブ・選手を支えてもら 「ジェーー」「Be Supporters!」という事であり組みはJリーグとサントリーウエル は周囲に 支えられる機会が多い高 68歳の現役サポーターから話 な 1 サッ 齢 者 業ネ

選手の背番号や名前入

と活気を取り戻す姿が見利用者の皆様カビートタ 5 りの応援うちわ作製な 2用者の皆様から、自然禍で活気を失っていた れるようになりました。 い体験を通して、 聞く機会もありました。 普段の生活ではでき コロ



今後も利用者の皆様





ボの

ような年齢

が来所されました。孫

涼介選手・長井一真選

また、

最終日には、

前



7月1日





笑顔満載かねはた合同文化祭

ては「上手にでき」、加華やかになり、ご関からデイサービーを、貼り絵などに とても印象的でした。 作ってみようかな」と制作意欲が湧いている姿が は「上手にできてよかった」「今度は違う物をないになり、利用者様も自分の作品を見つけいらデイサービスセンターの廊下が作品で彩らい、貼り絵などに取り組みました。開催中は、玄然、貼り絵な時間を利用して編み物、習字、塗り きが Ì 10 F, 月 恒 スセンター、老人ホーム、 づくり支援事業所で合同文化祭を行いまセンター、老人ホーム、短期入所施設、 例 日 つこの から11月2日に 行事ですが、 利用者様が、 かねはたデイ クラ

ブ L 生サ

で今晩一杯やるかな」と笑顔で話し、喜んでいるかれ、マグカップを当てた利用者様からは「これかな」「くじ引きは初めてやるよ」などの声が聞した。ワクワク、ドキドキしながら「何が当たるまた、今年は職員手作りのくじ引きを開催しま 姿が見られて、職員一 年度も 嬉しくなりました。

物を企画していきたいと思います。 皆様に楽しんでいただける催 (飛田)

かねはた短期へ

なんだね」「早いね」としみじみと話されます。お正月飾りに、利用者様各々目を輝かせ「お正月いを込めて、一月一日賀詞交歓会を行いました。 これから何が始まるのだろうの期待感が、 ら感じられました。 い年に福がたくさんあ りますようにと、 表情 月 カコ

気に包まれました。 るお正月のメロディーに、 一年の始まりに相応し V 会場は、賑やかな雰 囲れ

ち、 と、笑顔が溢れます。初釜の和菓子に舌鼓を灯おみくじを引いての運だめし「何が出るかな」病息災を祈りました。手作り神社での初詣参拝、 追い払うという意味があるそうです。 迫力でした。 獅子舞の登場には大盛況。 春の五感を楽しんでいただけたと思 獅子舞には、 疫病を退め 今 光景 治 年も、 は 中 無を

たらと思います。 今年も利用者様と、 より良い 年を過ごして

用



























○かねはた老人ホー介護職員 田所 ○萬春園 支援員 有田 弘美 大樹 (1月1 (10月1 目付) 百 付

○はまぎく荘デイサービスセンター 生活支援員 高根野本 隆二(1月1日付) 也 (9月1日 付 ○大みかけやき荘

〇永年勤続表彰(20年) おめでとう 大貫 里奈(11月1日付)

○全国社会福祉協議会会長表彰 正子 (萬春園) 優子(萬春園介護計画センター)

○全国社会福祉事業団協議会表彰 正子 (萬春園)

頋

気る力

はまぎく荘

介護職員

本

泣

ないそうだ。それだけ野球に対してないそうだ。それだけ野球に対してないということだろう。そうり、アリールドカップでも然り。選手ののワールドカップでも然り。選手ののワールドカップでも然り。選手ののワールドカップでも然り。選手ののワールドカップでも然り。選手ののアールドカップでも然り。選手ののアールドカップでも然り。選手ののアールドカップでも然り。選手ののアールドカップでも然り。選手ののアールドカップでも然り。選手のアールドカップでも然り。

O社会福祉事業功労者に対する知事表彰 (かねはた短期入所施設)

由子 (萬春園)

藤田由美子 (萬春園)

片岡 宇佐美圭祐 悦子(大みかけやき荘) (かねはた短期入所施設)

古川 正子(萬春園)
○全国老人福祉施設協議会表彰

〇日立市社会福祉協議会会長表彰

川上 真 (萬春園)

退職 大志 黒澤 大志 美 新藤香代子 (かねはた短期入所施設) (萬春園)

(大みかけやき荘)

○萬春園

杉浦 齋藤 智和章恵 (8 月 31 日 (9月30日付

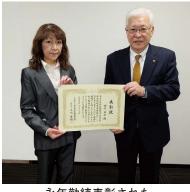
小蛭 林田 哲平 (1月31日付 (10月31日付

> ○はまぎく荘デイサービスセンター ご寄附ありがとうございました 直子(9月30日付)

○寄附

○物品寄附 鐵株式会社 様

ウルノ商事株式会社 Щ 陽一 宏 様 様 様



永年勤続表彰された 古川正子さんと小川理事長

とバスケ部に入っていたので彼らの きつさはわかる。とにかく走る、 い!と思う事もあったが、やはりバ スケが好きで試合に勝つと嬉しい。 シュートを打つ、もう嫌だ、辞めた シュートが決まると楽しい。その経 かっでも私の生きる糧になってい をした。

WBCの時、栗山監督がこう言っては、やるかやらないかだ。」と。 生活していること全てに当てはまる 生活していること全てに当てはまる と思う。 と思う。

(令和5年1月~12月)

①座右の銘

②趣味·特技

③ 抱 負

萬春園

介護職員

田だる

ッシュマン紹介



かねはた老人ホー 支援員 Ĺ

ニケーションを大切にします。 ③利用者様とご家族様の気持ちと、 ②旅行・ドライブ

コミ

②旅行・ドライブ・ボライブ・

有ありた

ンを大切にしていきたいです。
③利用者様と寄り添い、コミュニケーシ②映画・音楽鑑賞
①一陽来復(いちようらいふく)

大みかけやき荘 生活支援員 一かずや

を送れるように支援していきたい。③利用者様の安全を守り、安心した生②釣り



大みかけやき荘

生活支援員

③利用者様を笑顔にできるような支援を②読書・卓球①有言実行 すること

はまぎく荘デイサービスセンター

介護職員 里り

ショッピング 一郎垂石を穿つ(あまだれいしをうがつ)

ます。

①利用者様の笑顔を大切に、一日でも早く